



日本におったらわからないものが見えました

タイに行ってきました。久しぶりの東南アジアです。日本とは、六〇〇年の交流の歴史があるそうです。江戸時代の前期は山田長政という武将が、タイで活躍した記録もあります。

そして期せずしてなんですけど、二〇一七年は、明治時代に日タイ修好宣言を結んで一三〇周年になるそうです。まさにおめでたい年なんです。

何故かしらん、こういうの、僕はいつも運がええわねえ。行動するにもってこいの年なんですなあ。

確か一五年前に訪ねたことがあるんですけど、そのときと比べると、高いビルがぎょうさん建ってました。日本がこの繁栄に貢献したのはまちがいないことです。なんせ歴史ある友好国やからね。

そやけど、近年は、中国の影響が強まり、日本人街がさびれつつあります。

日本が進出してた工業団地も、よう報道されてた二〇一一年の大洪水の後は、撤退する企業もあり、カラオケなんかも、中国人の客が増えるといえます。

そんなときやからこそ、日本の存在意義を示さんといけないのやないでしょうか。

さて、僕が何故タイに行ったかという、当然、遊びやあり

ません。

もつとも、夜の見物には出かけました。えらい賑やかでびっくりしました。

なんせタイは今、軍事政権下なんでっせ。

軍隊が動き政権を握る。つまり、クーデターは、統計の取り方によりますけど、一八回とも一九回とも数えられるそうですから、言い方悪いけど、日常茶飯事のような感じです。

軍人が政府の中枢におるなんて、日本では考えられませんが、政治が煮詰まって、うまくいかないとき起こる、緊急避難のようなものかもしれません。これ、旅行者の感想に過ぎませんけどね。ともかく夜は派手でした。

日本で作った無人機を タイと共同開発したいんです

さてさて、本題に入らないと。「すぐ話が横道にそれてしまいますなあ」と、いつも会う東京のおっちゃんにからかわれますが、違うんです。同時にいろんなことを考えてるんで、それが出てしまうんです。

あれまた、それでしょうた。

そもそも、僕が今回訪れたのは、無人機の共同開発をしたかったからなんです。



●(株)アオキ取締役会長
青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

ご存知の方もいらっしゃるでしょうけど、僕は人工衛星「まいど1号」の後、無人飛行機を開発しています。VTOL、つまり垂直離着陸機です。垂直に離陸できるから、飛行場も短くてよく、いろいろな用途が考えられます。日本でつくったこの無人機の改良版を、タイと共同開発したいんです。

この思いを、僕はタイ政府の要人の前でプレゼンテーションしました。

ちなみに、日本の大企業のプレゼンは、わが社はこんな技術を持ち、こんなことができる、こんな優秀な製品をつくる、というのが一般的ですが、僕は違います。「僕はこんな男やから信用してくれ。だから一緒にやりませんか」といったアピールが中心です。

自慢やありませんが、僕は相手にぶつかるとは得意です。ここやと思う会社を、逃がしたことはありません。

それと、それを生かして事業を具体化したり、販売促進することは、また別の人に頼みますけどね。

**下請け仕事を脱して
アイデアでどう生きていくかが勝負や**

モノづくりにかかる開発や研究には、当然、人、モノ、金が必要です。そやけどそれよりも僕は、熱意が第一と信じてます。行ってわかったのは、日本の大手企業は、お金にならないことはやらないし、出向先は自分で決めないから、決定が遅くなる中国にやられてしまいがちなんです。

それなら、中小企業のウチがタイに出向いて、研究開発の会社をつくり、無人機の共同開発をしよう。それが日本のためにも、タイのためにもなればいい、と思いました。当然、そのためには日本

の政府にも、応援してもらわなければなりません。これは、今後の中小企業のひとつの生き方になれば、と思います。もう日本では、労働集約的な仕事はなくなっていくでしょう。下請けの仕事から脱して、アイデアでどう生きていくか、が勝負やと思います。

わずか二泊五日のタイ訪問でしたが、日本との友好や中国の大きな影なんて、大阪におったら、普段、わからないことがあるくらい見えてきました。タイ政府の要人からも、よい感触を得ました。

この機会を得て、またいろいろ仕掛けを考えんと、思うたタイの旅でした。

「ところで、バンコクの夜はどうやったんです」と、ここで東京のおっちゃんのツッコミが入りました。

思わず「だめだなあ君は。そんなことはかりしか考えてないのか」と標準語でたしなめてしまいました。

でも、僕が標準語使うと嘘くさいですなあ。ほんまに。



●タイ政府の要人と会談